

# 手賀沼通信(第340号)

Eメール: nittay@jcom.home.ne.jp  
<http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai>

<http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/>  
<http://tegatu2.web.fc2.com>

新田良昭

今年になってからの手賀沼通信ブログ抜粋です。シリーズ物ではありません。

最近手賀沼通信ブログを書く回数が減ってきました。好奇心、観察力、行動力、思考力、集中力などの衰えを実感しています。

## 手賀沼通信ブログ抜粋

### グレートトラバース 山岳古道編が始まった (NO. 1961) (2026年1月10日)

2026年1月3日、NHKのテレビで「グレートトラバース 塩の道 日本海から太平洋へ420キロ」が放送されました。

この番組は田中陽希さんのグレートトラバースの新しいシリーズです。田中さんは2014年に百名山、2015年に二百名山、2018年から2021年には三百名山(百名山、二百名山を含む)を徒歩とシーカヤックを使って巡り、テレビに放送されました。

それから4年、新しい歩きが始まったのです。この塩の道は日本海の糸魚川海岸から、昔の塩の道の松本街道を歩いて松本まで行く道と、松本から秋葉街道を経て御前崎の相良海岸まで合計420キロを歩く行程でした。ところが途中の道に通れない場所があったため、回り道を歩かざるを得ず470キロを歩きました。

2025年10月1日に糸魚川ヒスイ海岸をスタートしてゴールまで19日間かかりました。

いにしへの塩の道だけあって、今は使われていない道となっており、道標が見えなくなっていたり、道が崩れていたり、農家の庭先になっていたり、まさに「山岳古道」そのものでした。

このブログは間違っているのがわかりました。グレートトラバースの新しいシリーズ山岳古道編は始まらなかったのです。私の早とちりでした。塩の道を歩いただけで終わりでした。

### 2026年のプロ野球スプリングキャンプ (NO. 1965) (2026年2月4日)

2026年のプロ野球スプリングキャンプが2月1日より行われています。

開幕はセ・パともに3月27日です。

今年はセ・リーグで2人、パ・リーグで1人と3チームで監督が交代しました。セ・リーグではDeNAの三浦監督が相川監督に、ヤクルトの高津監督が池山監督に替わりました。パ・リーグではロッテの吉井監督がサブロー監督に替わりました。

キャンプ地はロッテが前半を沖縄石垣島から都城に移した以外は昨年と同じです。

セ・リーグ

- ・阪神(藤川監督) 沖縄宜野座
  - ・DeNA(相川監督) 沖縄宜野湾
  - ・巨人(阿部監督) 宮崎、沖縄那覇
  - ・中日(井上監督) 沖縄北谷
  - ・広島(新井監督) 日南、沖縄沖縄
  - ・ヤクルト(池山監督) 沖縄浦添
- パ・リーグ

- ・ソフトバンク(小久保監督) 宮崎
  - ・日本ハム(新庄監督) 沖縄名護
  - ・オリックス(岸田監督) 宮崎
  - ・楽天(三木監督) 沖縄金武
  - ・西武(西口監督) 日南
  - ・ロッテ(サブロー監督) 都城、沖縄糸満
- キャンプでは各チームの目標は優勝して日本一になることです。

ドラフトで入った新人も、移籍してきた選手も、それぞれの夢と目標に向かって努力を重ねています。皆さん頑張って!

### ミラノの思い出(NO. 1966) (2026年2月6日)

2026年2月6日、ミラノ・コルティナ冬季

オリンピックが開幕を迎えます。今までに3回妻と二人で観光ツアーで訪れたミラノの思い出を振り返ってみましょう。

1回目は1995年5月、58歳の時です。

この時は、イギリス、ドイツ、オーストリア、イタリア、スイス、フランスの6か国を10日で回るといいう忙しい旅でした。

通貨ユーロの登場前で、各国の通貨に両替し、各国内でできるだけ使い切るという芸当が必要でした。デジタルカメラも普及する前で、フィルムを何本も持っていく必要がありました。携帯電話もなく、家に連絡するときはいくつかの工夫が必要でした。

イタリアではベネチアとミラノに立ち寄り、それぞれ1泊して市内観光をしました。

ミラノの観光は、ドウオーモ、ガレリア、スフォルツェスコ城、スカラ座などを見学しました。ダ・ビンチの「最後の晚餐」の絵のあるサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ修道院は修復工事で入場禁止でした。

2回目はその11年後の2006年5月～6月、イタリア各地を13日間で回るツアーでした。69歳になっていました。ミラノがツアーのスタート地点でシチリア島まで行きました。

この時はデジタルカメラと国際通話ができる携帯電話を持参しました。観光したのは1回目とほぼ同じでした。この時はドウオーモが修復中、その代わり「最後の晚餐」の絵はしっかり見ることができました。

3回目はその4年後の2010年7月、11日間のアルプス観光の時でした。アルプス観光はスイスが中心で、モンブランを見るときだけフランスに入ります。イタリアのミラノはJALの直行便の発着のため立ち寄ったのです。イタリアのアルプスも有名ですが、このツアーではパスしてミラノからはスイスアルプスへ向かいました。

最後にミラノに戻ったとき、半日の観光の時間が取れました。そしてそれまで登れなかったドウオーモの屋根の上に登りました。ミラノの市街を上から眺めることができました。

写真は2回目か3回目に行ったとき撮ったものです。



ドウオーモ



ガレリア



スフォルツェスコ城

## ミラノ・コルティナオリンピックが開幕した (NO. 1967) (2026年2月8日)

2026年2月6日、第25回冬季オリンピック・ミラノ・コルティナ大会が開幕しました。

この大会は、競技種目によってイタリア北部のミラノ、コルティナダンペッツォ、リバーニョ、プレダッツォの4か所に分かれて行われます。そのため開会式も4か所で行われました。

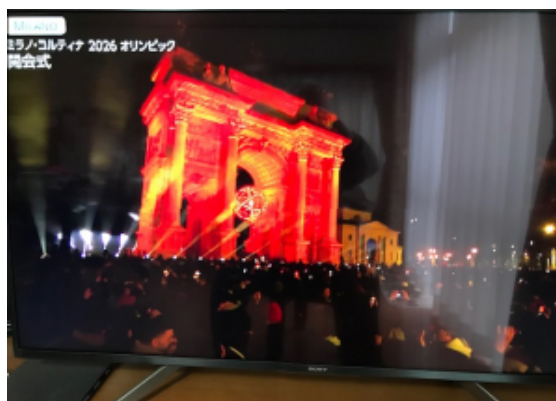
イタリアでの冬季大会は、1956年のコルティナダンペッツォ、2006年のトリノに続いて3回目となります。

今回は92か国・地域から選手約2900人が参加し、22日までの17日間で8競技116種目が行われます。日本からは121人の選手が参加します。

ミラノ大会の開会式は市内のサンシーロスタジアムで行われ、NHKのテレビで7日早朝4時から放送されました。開会式のテーマは「調和」、音楽や踊りや舞台芸術や映像などで、イタリア文化の美しさと華麗さを多彩に演出しました。さすがイタリアと感銘を受けた開会式でした。



聖火台はミラノ中心部の「平和の門」に設置



コルティナ会場の「ディボーナ広場」の聖火台



日本選手団は前回の北京大会で冬季大会過去最多のメダル18個を獲得しました。今回はそれを超えるメダル数を期待されています。

## スマホを買い替えた (NO. 1970) (2026年2月17日)

2026年2月15日スマホを新しく購入したものに切り替えました。

2019年に初めてスマホを使い始めたのですが、時々機能が中断したりし始めたので買い替えたのです。

同じiPhoneの中古品で、SE\_2 128GBです。最新式にしなかったのは、操作が同じで値段が安かったためです。約2万円で購入できました。自分があと何年使えるかも考えました。

購入から回線切り替えやデータの移行まで長男がやってくれました。私がスマホを使い始めたのは、家族9人のうち最後でした。パソコンのほう画面が見やすく入力が楽だったからです。

長男や妻に勧められて使い始めましたが、使い始めるとその便利さがよくわかりました。みんなが持っている理由が理解できました。私が使っているのは機能のその一部にすぎません。

妹と弟をがんで亡くしましたが、亡くなる数日前まで、LINEでやり取りすることができました。

年齢を考えると、このスマホが最後のものになると思っています

## 10回目の大腸憩室出血で入院 (NO. 1973) (2026年3月4日)

2026年2月14日午後大腸憩室出血を発症しました。10回目です。前回の発症を10回目とブログに書いたことがあります。数え間違いで今回が10回目です。過去4回入院、5回は自宅療養でした。

今回は5回目の入院です。4回目の入院は慈恵医大病院で心臓の冠動脈にステント挿入の手術をした直後に大腸憩室出血を発症したため慈恵医大病院に入院したのですが、最初の3回と今回は名戸ヶ谷あびこ病院です。

今回はいつもの経験に倣ってまず絶食をして止

血剤を飲みました。2日間ほど食事をぬけば出血は止まっていたのですが、なかなか止まりません。20回の食事のうち、11回は絶食、食べたときもおかゆ程度を続けました。絶食すると便が出なくなる日が多く、出血しているのか、止まったのかがなかなかわかりません。このまま絶食を続けるのも栄養不良になる恐れがあります。

8日目になって最初の時と同じような出血があったので、過去入院したことのある名戸ヶ谷あびこ病院に行きました。診断の結果、先生からは通院でも入院でもいいと言われましたが、入院に決めました。そのほうが早く治ると思ったからです。1週間ぐらい入院すればいいと思ったのですが、退院できたのは10日目でした。

入院してもなぜか以前と違って栄養剤だけの点滴が続きました。21日の土曜日に入院したので、それから連休で2日間病院はお休み、その後先生と話せたのは入院6日目でした。前日の入院5日目に大量の出血がありました。

そこで止血剤の点滴を依頼し、その日からやっと止血剤の点滴が始まりました。そして10日目の3月2日に退院できました。現在は食事を柔らかなものに制限してとっています。

名戸ヶ谷あびこ病院には過去3回入院しています。最後は2019年でしたが、そのころに比べると病院は変わりました。

いいほうに変わったのは、週に2回介添え人によるシャワー入浴ができること、食事時のサービスがよくなったことなどです。

物足りなく感じたのは、面会ができないこと(インフルエンザ流行時だからか)、先生の回診がない日が多かったこと、点滴の内容や開始時間などです。

人手不足が感じられました。ベトナム出身の看護師が担当だった日がありました。6階のナースセンターにはベトナム出身の看護師が男女1人ずついました。

患者も変わった感じでした。歩けない高齢者が多くそのため看護師などの負担が増えたように感じました。わずか10日間の経験なので間違っているかもしれません。

入院して困ったのは、10日間のうちに体力が落ちたことです。筋力が落ち歩くことなどの動作が遅くなったりふらついたりすることです。高齢になるほど影響が大きいと感じました。